

公表

放課後等デイサービス事業所における自己評価総括表

| | | | |
|----------------|--------------------|---|---------------|
| ○事業所名 | アイリス放課後等デイサービスセンター | | |
| ○保護者評価実施期間 | 2024年12月1日 | | ～ 2025年1月20日 |
| ○保護者評価有効回答数 | (対象者数) | 3 | (回答者数) 3 |
| ○従業者評価実施期間 | 2024年12月1日 | | ～ 2024年12月30日 |
| ○従業者評価有効回答数 | | 4 | (回答者数) 4 |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 2025年2月1日 | | |

○ 分析結果

| | 事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等 | さらに充実を図るための取組等 |
|---|--|---|--|
| 1 | 高齢者サービスとの共生型であることから、自然と高齢者との関わり方を学ぶことができる | 職員や高齢者との挨拶など、他者との関わり方をしっかりと出来るようにしている。時間のある時は一緒にレクに参加し、高齢者との関わり方を学ぶ | お互いに名前を覚え、コミュニケーションを取れるように今後も一緒に取り組む時間を設ける |
| 2 | 少人数対応。個別対応で宿題等の助言ができる | まずは宿題に取り組むなど、一日の流れを明確にし、習慣になるようにしている。子ども同士一緒にいると集中できない場合は、個別で場所を変えて宿題に取り組む。 | 集中できる環境を整え、時間配分も出来ていけるように働きかけていきたい |
| 3 | 広々としたスペースで存分に身体を動かすことができる | 安全に活動できるようにマットなども用意し身体を動かしてもらっている | 室内でもしっかりと身体を動かす時間やプログラムを考えていきたい |

| | 事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
|---|--|------------------------------|---|
| 1 | 職員に外国語スキルがないため、外国人の親とのやりとりでうまく意思疎通がいかないときがある。また文化の違いから、おやつ、食事などの対応が課題となっている。 | 外国語のわかる職員がいない | スマホの翻訳アプリなどを使用したり、他者を交えることで、行き違いがないようにしていく必要がある |
| 2 | 少人数であるため、子ども同士の相性が、行動や過ごし方に大きく関わってくる | 共生型であるため、多くの子どもを受け入れることはできない | 少人数での個別対応が可能なことは強みだが、子ども同士の相性や、宿題への取り組み方などを見て、今後も必要時は場所をかえるなど工夫して対応していきたい |
| 3 | | | |